



飯島町ネイチャーポジティブ宣言

～飯島町は 2030 年までに生物多様性の劣化傾向を反転させることを目指します～

飯島町は中央アルプスと南アルプスの雄大な山々に抱かれ、天竜川やその支流が作り出した田切地形、そしてその周りに成立する森林や草地、湿地などによって、豊かな生物多様性が育まれてきました。私たちはその恵みを楽しむことで、のちに「飯の島」と呼ばれるようになったこの地に縄文時代から居住し、農業などの生業を維持してきました。豊かな自然とその恵みは祖先から受け継いだかけがえのない財産であり、後世まで伝えていかなければなりません。

しかし近年、生物多様性の喪失が世界的な課題となっており、飯島町においても決して例外ではありません。私たちがこうした状況を打開し、地域の豊かな自然を取り戻していくことは、後世への責任であり、持続可能な地域社会を構築していくためには不可欠です。飯島町は、地域内外の様々な個人や団体、企業等と連携しながら、生物多様性の保全と回復に向けて主体的に行動し、2030 年までに生物多様性の劣化傾向を反転させる「ネイチャーポジティブ」の実現を目指すことを宣言します。

また、「ネイチャーポジティブ」の実現に向けて、飯島町の豊かな生物多様性を守り、地域課題の解決と持続可能な地域社会の構築に活かすことを目指す「生物多様性いいじま戦略」の取り組みを推進します。

令和 8 年（2026 年）6 月 7 日

飯島町長

唐澤 隆